



▲平成18年度一般会計予算起立多数で可決

平成18年度 予算の概要

平成18年度一般会計予算は前年度に比較して六・二%増であり、生活保護費や児童手当等の扶助費が増大する一方、市税の減収見込みで厳しい財政運営を迫られている。歳出では、福生病院の建設費負担金、新庁舎建設、羽島駅自由通路整備や第三中学校ランチルーム整備事業費等を計上している。

今定例会に、平成18年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて三十四億一〇九三万二〇〇〇円が提出され、予算審査特別委員会、建設環境委員会、市民厚生委員会において通算五日間にわたり慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

答 岁入の確保の分野では、新たな財源の確保、受益者負担の適正化、国庫補助金等の積極的活用など九件で二六〇一万三〇〇〇円の増、歳出の抑制の分野では、人件費の見直し、事務事業経費の削減・節減、アウトソーシングの推進、特別会計繰り出金の抑制など三四件で四億八六六五万七〇〇〇円の減で、合計四三件で五億二二六七万円が予算に反映された額とどちらえました。

答 年度内完納を目指して取り組み、一%でも高い収納率を目指している。また、地域ネコの不妊去勢手術は毎年五〇匹と決まっているのか。また、手術費用がオスが七〇〇〇円だが、オースばかり手術すれば経費は少なく済むと思うがどうか。

答 把握しているのは二〇町会・自治会であるが、各小学校のPTA、また老人会でもパトロールしているが、数は把握して捕獲する。その後市に問い合わせたい。

